レク森　定例観察会

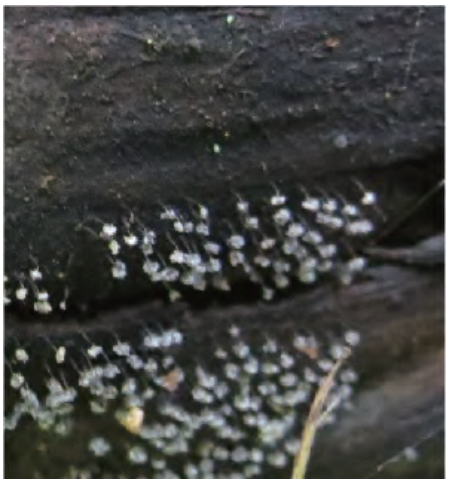
８月観察会の活動報告

日　時：8月23日（日）　9：30～12：00
場　所：レクの森　森林展示館周辺
テーマ：「きのこ・ねんきんかんさつ会」
講　師：水本　絵夢（教育林コーディネーター）

今回はとくにふしぎな生態をもつ粘菌（ねんきん）といういきものに注目しながら、レク森をあるきました。ちょうど雨がふったあとだったので、たくさんの粘菌の子実体がみられました。粘菌の子実体はかたちも色もさまざまなのでみるだけでもたのしいです。

▲木くずのようなかたまりもよくみると粘菌だったりします。粘菌はこのような子実体から胞子をとばしてふえていきます。

▼白いイソギンチャクのようなツノホコリのなかま。右上の写真はおなじなかまの「エダナシツノホコリ」で、白い部分は胞子です。



▲ぼんぼりのようなかたちのモジホコリのなかま。レク森いりぐちからはいってすぐの木の土どめのところでたくさんみつけました。

▲きいろのつぶつぶで粘菌!?とおもいましたが、ビョウタケというキノコだとおもわれます。

▼粘菌に白くぼやけたカビがついています。粘菌はこのようにカビや昆虫などにたべられることもあります。

▲ひとつひとつがパイプのようなかたちをしているパイプタケ。

おつかれさまでした！